

## 「企業版ふるさと納税」認定事業の実施状況の評価について

## ◎ 趣 旨

本市の「企業版ふるさと納税」の認定事業である「地域再生計画『L R T 導入による魅力ある都市づくり事業』」について、平成 28 年度の実施状況の評価を行うもの

## 1 「企業版ふるさと納税」の概要

## (1) 経過と仕組み

地方創生を加速させていくためには、地方公共団体が民間資金も活用して地方版総合戦略に基づく事業を積極的に実施していく必要があることから、地域再生法の改正（平成 28 年 4 月 20 日施行）により、民間企業の寄附を促すための地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）が創設された。

## 〔ふるさと納税（一般）との比較〕

	企業版ふるさと納税	ふるさと納税（一般）
寄附者	企業（ただし、本社が所在する自治体への寄附は税の優遇措置なし）	個人（寄附先に制限なし）
対象事業	地方版総合戦略位置付事業であり、地域再生法に基づく地域再生計画を策定し、国の認定を受けたもの	自治体の判断
税の優遇措置	寄附額に対し、現行の損金算入措置（約 3 割）に加えて、法人住民税、法人税、法人事業税について、計 3 割の税額控除の優遇措置を行うことにより、寄附額の約 6 割を負担軽減する。	一定の寄附額までは、寄附額の 2,000 円を超える部分について、住民税・所得税が控除される。
寄附の下限	10 万円	規定なし。ただし、2 千円を越える寄附が税額控除の対象となる。
制限事項	企業に対し、寄附の見返りとなる便益（入札上の優遇、補助金など）の供与を禁止	

## (2) 対象期間

平成 28 年度から平成 31 年度まで

## 2 本市の取組について

### (1) 考え方と経過

- ・ 民間資金を活用し、地方創生の取組をより推進するため、今回の国の制度を活用し企業版ふるさと納税に取り組むこととした。
- ・ 平成28年9月に内閣府へ寄附活用事業を盛り込んだ地域再生計画を申請し、11月に認定を受けた。

### (2) 寄附活用事業の要件

人口減少対策に資する取組のうち、次の国の要件を満たすものを寄附活用事業に選定した。

- ・ 国の補助金や交付金の対象とならない事業
- ・ 地域再生計画の認定後に着手する事業
- ・ 数値目標（KPI）を設定すること
- ・ 進行管理については、外部有識者等による評価など、PDCAサイクルを整備すること

### (3) 地域再生計画の概要

#### ア 地域再生計画の名称

「LRT導入による魅力ある都市づくり事業」

#### イ 計画の目標

- ・ LRTは、本市の公共交通ネットワークの東西方向の基軸となる東西基幹公共交通に導入するものであり、中心市街地をはじめとした沿線地域の活性化や産業の振興など、将来のまちづくりに多くの効果が期待できるものである。
- ・ 地域再生計画においては、人口減少対策に係る数値目標を設定する必要があることから、LRT整備により市の中心部との交通ネットワークが強化されることで、企業の進出による雇用の創出や定住人口の増加が期待できる「宇都宮テクノポリスセンター地区」の人口を指標とした。

<数値目標>宇都宮テクノポリスセンター地区（ゆいの杜1～8丁目）の人口

	H28年8月 計画申請時	H28年度末	H29年度末	H30年度末	H31年度末
人口	5,752人	6,060人	6,230人	6,396人	6,545人

#### ウ 寄附活用事業

LRT整備事業のうち、次のものとする。

##### ① トータルデザイン

LRTの整備において、市民が接する車両や停留場といった施設など、すべての要素に対して、市民が愛着を持てるような独自性豊かなデザインとすることで、LRTをシンボルとした、新たな都市の価値や風格の創出を図るため、トータルデザインの取組を実施する。

##### ② 停留場周辺の駐輪場整備

9箇所の停留場周辺において、自転車のアクセス性を高め利用圏域を拡大することにより、利用者の利便性の向上やLRTの利用促進を図るため、駐輪場などを整備する。

<事業計画>

寄附活用事業	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
トータルデザイン	LRT整備事業やデザインコンセプト等の市民説明会の実施	車両や停留場のデザイン設計, 市民アンケート等の実施	建設段階におけるデザイン監修, ドネーションやネーミングライツの計画	開業直前の試乗会や内覧会などのPR活動, 広報ツール作成
計	160千円	30,800千円	22,600千円	18,300千円
停留場周辺の駐輪場整備	—	整備予定地の取得	駐輪場土木工事, 上屋工事	駐輪場土木工事, 上屋工事
計	0千円	34,580千円	40,320千円	43,680千円
事業費計	160千円	65,380千円	62,920千円	61,980千円

総額 190,440千円

### 3 平成28年度の実施状況の評価

#### (1) トータルデザインの取組状況

- ・ LRTは「まちの顔」となるものであることから、LRT車両や施設を統一感のあるデザインとするため、トータルデザインに取り組んでいる。
- ・ トータルデザインにおいて、デザインを展開していく上での基本的な考え方となる、デザインコンセプトの設定に際し、「芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会」の専門部会である「LRTデザイン部会」の意見を中心に検討を行った結果、「気候・風土」の象徴である『雷』が最も望ましいとした。
- ・ 雷の恵みと同様に、LRTが未来に向けて恵みを与えてくれる役割を担っていくものとして、『雷都を未来へ』LRTによる未来のモビリティ都市の創造」をデザインコンセプトとして設定した。
- ・ デザインコンセプトの周知については、LRT整備事業やネットワーク型コンパクトシティの形成と合わせて、延べ58日間のオープンハウスや23団体（予定を含む）への出前講座などを実施し市民へ説明を行っている。

（事業費は、説明会で必要となるプロジェクター等の備品購入費 179千円）

→ 計画どおり、進捗している。

#### (2) 数値目標の達成状況（宇都宮テクノポリスセンター地区（ゆいの杜1～8丁目）の人口）

計画	平成28年8月計画申請時	5,752人
	平成28年度末	6,060人
実績	平成29年1月末時点	6,165人

→ 1月末時点で、計画を105人上回っている。

### (3) 寄附受入の状況

計画 100 千円

見込み 100 千円

→ 事業費 179 千円に対し、3 月下旬に 1 社から 100 千円の寄附を受け入れる見込みである。

## 4 今後の取組み

### (1) 寄附活用事業について

- ・ 「トータルデザイン」については、今後、デザインに関する住民参加を得ながら、車両や停留場などの各種施設のデザインの作成を行う。
- ・ 「停留場周辺の駐輪場整備」については、L R T 整備とともに、計画的に進めていく。

### (2) 寄附について

今後、対象事業が本格化することから、様々な広報媒体により広く寄附を募集するとともに、経済団体等への協力・理解をお願いし、寄附を確保していく。